

# もみ殻を活用した地域資源循環スキーム等の構築支援について

## 概要

- 秋田県大潟村および村内企業等と共同で地域エネルギー会社である(株)オーリスを設立。日本初となるもみ殻バイオマス熱供給事業および太陽光発電事業による再生可能エネルギーの利活用を目指す大潟村を伴走支援
- 「もみ殻バイオマス熱供給事業」は地域資源である「もみ殻」の有効活用や農作業負担軽減にも寄与。本事業を通じた地域の脱炭素と循環型農業を実現し、農村地域の新たなモデルケースの確立を目指す。
- 「太陽光発電事業」では蓄電池の活用により再エネ電力の利用最大化をはかる。環境負荷の軽減のほか、災害・停電時の備えとしてBCP機能の役割も担う。

## 当行の取組み

- プラント建設資金の融資支援にとどまらず、事業計画の策定、関連契約の内容精査など包括的な支援を実施。実効性のある事業支援を行うべく行員2名を大潟村・オーリスへ派遣
- 出向者は両事業の事業構築支援やサプライチェーンに属する事業者・関係者の調整を担ったほか、商業運転開始以降は日常の運転管理、財務・経理業務も担当
- 出向者派遣による事業支援、再エネ分野の知識・ノウハウの蓄積をはかることで当行のカーボンニュートラル施策へ活かしていく方針

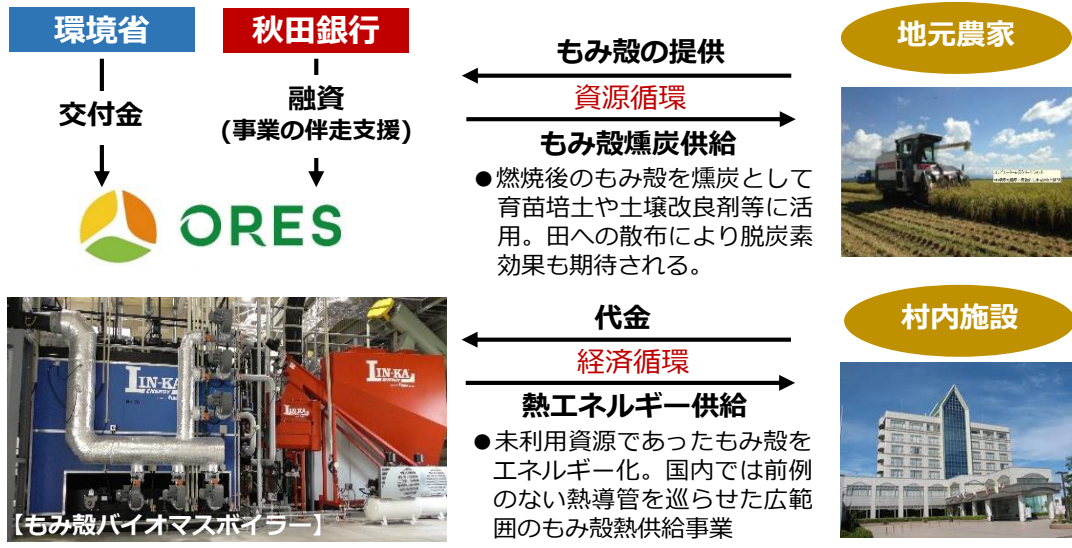
## 【事業スキーム】



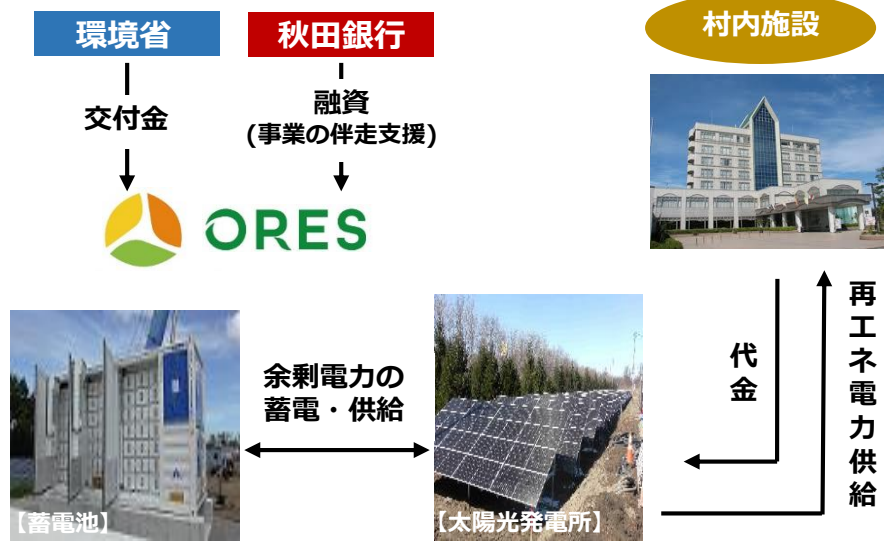
行員の出向	<ul style="list-style-type: none"><li>行員2名が大潟村・オーリスへ出向</li><li>出向を通じ、大潟村、オーリスと当行間の連携を強化し、事業推進をフォロー</li></ul>
融資の実行	<ul style="list-style-type: none"><li>2022年7月：出資および事業構築にかかる多岐にわたる支援を実施</li><li>2023年6月：もみ殻バイオマス熱供給事業に対する融資実行</li><li>2024年2月：蓄電池併設型の太陽光発電事業に対する融資実行</li></ul>
商業運転開始	<ul style="list-style-type: none"><li>2025年2月：両事業の商業運転開始</li></ul>

# 具体的な取組内容

## ①もみ殻を活用したバイオマス熱供給事業



## ②太陽光発電事業



### 【①もみ殻バイオマス熱供給事業】

- ・ 地域資源の「もみ殻」をバイオマスボイラーで燃焼し、村内施設（ホテル、温浴施設、小中学校等）の暖房・給湯に使用されている化石燃料由来のエネルギーを代替するとともに、燃焼後のもみ殻を燻炭として農業に再利用することで地域資源の循環に貢献
- ・ 燻炭は農地散布により土壤改良や炭素貯留の効果が期待されるほか、育苗培土への活用を通じた苗箱の軽量化により、農作業負担の軽減がはかられ、農業人口の高齢化対策に寄与することも期待される。

### 【②太陽光発電事業】

- ・ 太陽光発電により得られた再エネ電力を村内の主要な公共施設で活用。余剰する再エネ電力は併設する蓄電池に貯留され、夜間需要への対応・災害時のBCP機能の役割も果たす。